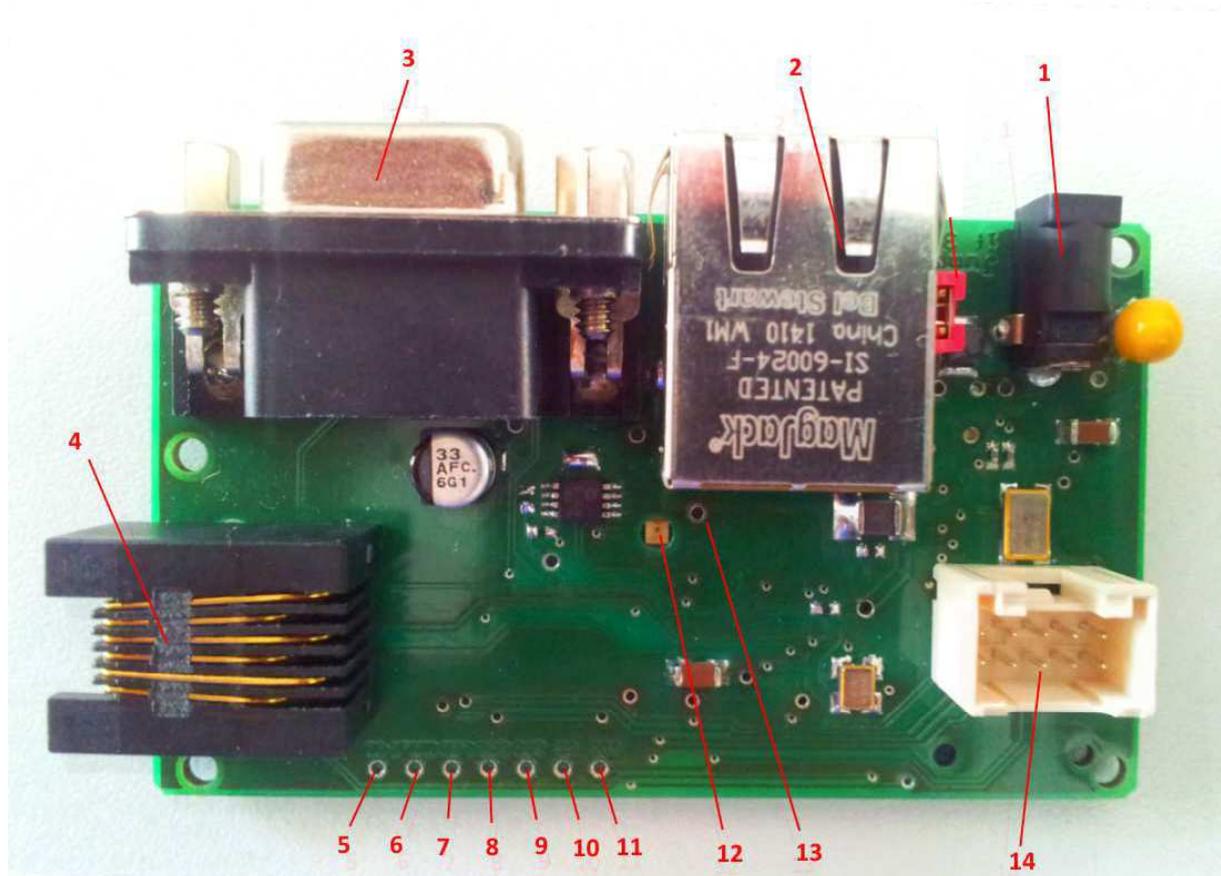


1. Jacks and test points on the PCB



1. 電源入力 3.3V 500mA 
2. イーサネットジャック CAT5ケーブル(クロス)を接続して下さい。
3. RS232. ユニットのデバッグ、コントロールのPRINTステートメント
[設定] 115200 baud, パリティ:無, データビット:8bit,
ストップビット:1bit, フロー制御:無
4. Microchip社インサーキットDebugger/Programmer用ジャック
5. テストポイント #VD シグナル
6. テストポイント MCLK シグナル
7. テストポイント LEDR シグナル
8. テストポイント SPIバスの SCK
9. テストポイント SPIバスの MOSI
10. テストポイント SPIバスの #SSシグナル
11. テストポイント SPIバスのMISO
12. LEDR. Debuggingに使用出来ます。
13. テストポイント VSS
14. HTPAモジュールとの接続コネクタ

2. インサーキットDebuggers,Programmers

使用しているマイコンはMicrochip社 PIC32MX575F512L-801/PTです。
対応しているProgrammers,インサーキットDebuggersは
www.microchip.comを確認して下さい。
対応している機器のリストを記します：PICKit3,ICD3,REAL ICE。
お客様が必要なProgrammerを選定、購入される前に
詳細や最新版をwebにてご確認ください。

3. ハイマンセンサ社ソフトウェアでの測定

このSDKはすでにプログラムされております；
それゆえイーサネットスイッチもしくはハブに直接接続する事により、
ハイマンセンサ社のソフトウェア（GUI）にて簡単に測定開始する事が出来ます。
GUIでの測定は次の手順で行います。

1. クロスのCAT5ケーブルをSDKのジャックとPCのイーサネットジャックに接続します。
スイッチを介して機器と接続をしたい場合は、標準のCAT5ケーブルを使用下さい。
2. SPIモジュールとSDKを付属のアダプタケーブルで接続します。
3. SDKに3.3V電源を接続します。
4. SDKがDHCPを認識する時間として10秒ほど待機します。
その後SDKはデフォルトIPを使用します。
詳細は"Operating Manual for Arraysoft"もしくは"FAQ GUI & HTPA"をご参照下さい。
SDKのデフォルトIPは192.168.240.122に設定されております。
また、このIPアドレスはGUIにて変更する事が出来ます。
5. "Cam.exe"を実行し、モジュールとの通信を開始致します。
詳細は"FAQ GUI & HTPA"をご参照下さい。
6. 測定を開始します。

4. デバッグとコード作成を開始する為に

このSDKはすでにプログラムされております；
それゆえイーサネットスイッチもしくはハブに直接接続する事により、
ハイマンセンサ社のソフトウェア（GUI）にて簡単に測定開始する事が出来ます。
GUIでの測定は次の手順で行います。

1. www.microchip.comからMPLAB IDEをInstallします。
2. www.microchip.comからMicrochip Application LibrariesをInstallします。
3. 現在のTCPIP Stack versionは5.43です。
4. microchip.comからC32コンパイラをDownload,Installします。
5. "ENC28J60.c"のコピーを作り保存します。
(例えば,C:\Users\Example\Microchip Solutions v2010-10-19\Microchip\TCPIP Stack
6. もとの"ENC28J60.c"とコピーしたファイルを置き換え、サブディレクトリ上に配置するか、
オリジナルファイルの任意の行で"#ifndef STACKPOLLING"...を実行します。
7. IDEで"ModToUDP.mcw"を開き、プロジェクトディレクトリが正しい場所か確認して下さい。
(Project-->Build Options-->Project-->Directories-->Include Search Path)
8. "main.c"ファイル内で与えられているワークスペースのMAC-IDを変更しないで下さい。
([]内の定数は製品によって異なります)MAC-IDの変更はネットワーク上での重大なトラブルに
つながります。[00:97:FF:00:00:00]から[00:97:FF:FF:FF:FF]の間はハイマンセンサ社が
使用している領域になります。SDKのMAC-IDを除くこの間の他のMAC-IDを使用することを
禁止致します。これらの条件を無視した場合、ハイマンセンサ社は法的措置を課すこともあります。
9. SDKとPCもしくはスイッチ/ハブをイーサネットケーブル(クロス)で接続します。
10. 標準のシリアルRS232ケーブルをPCに接続します。
11. SDKにインサーキットDebuggerを接続します。
12. SDKに3.3V電源を入力します。
13. コンパイルしコード作成を開始出来ます。